

# ネイチャーセンターだより



## 春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

## ウミアイサ

英名：Red-breasted Merganser 学名：Mergus serrator



冬になると、越冬のために根室に渡来する冬鳥です。オスは緑色の光沢がある黒色の頭をしていて、ボサボサの冠羽が特徴です。メスの頭はオレンジがかった褐色をしています。

海岸近くの海上や港、川や湖沼で、魚や貝を食べています。水面に浮いたまま、顔だけを水中に入れ、魚を見つけると素早く潜って捕まえます。くちばしには歯のような突起が並んでいて、捕まえた魚を逃がさない仕組みになっています。

## ネイチャーセンター日記

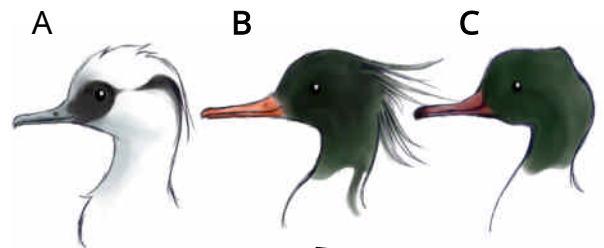
暖かい日が続き、なかなか凍らなかつた風蓮湖でしたが、年明けの冷えこみで少しずつ凍っている部分が増えてきました。氷の下に網を張ってチカやコマイを捕る「氷下待ち網漁」もいよいよはじまり、おこぼれの魚を狙ってオオワシやオジロワシが風蓮湖に集まっています。冬の澄んだ空を飛ぶ勇ましい姿や獲物をめぐって喧嘩をする姿、氷の上をのしのしと歩くユーモラスな姿など、さまざまな表情を見せてくれます。

1月22日からは、風蓮湖にやって来るオオワシとオジロワシの数を数える調査がはじまります。今年は何のくらいのワシがやって来てくれるのか、今からとても楽しみです。



## ～春国岱クイズ～

冬になると根室にやってくるアイサの仲間たち。ウミアイサのオスの顔は、次のうちどれでしょう？



ヒント：

頭の形に注目だよ。

ボサボサ頭なのはだれだろう？

答えは来月号

( 先月号の答え B )

# ネイチャーセンターからのお知らせ

## フィールド講座② 野生の生きものよもやま話

1月16日(日)、「野生の生きものよもやま話」を開催しました。人と野生生物の関係を考える会の高橋克巳氏を講師に迎え、道の元・自然保護担当として経験した野生動物との出来事を、写真や映像を使いながら紹介していただき、8名の方が参加しました。

オオハクチョウのエサに集まったカモが駐車場で交通事故にあったり、作物の栽培や毛皮などのため持ち込まれた外来生物が定着し、在来生物へ影響を与えたり、怪我をしたり迷い込んだりした動物の保護をしたりと、善し悪し含め、人と動物の様々な関わりを紹介していただき、自分の周りの自然を見直すきっかけをいただきました。



## 小鳥のエサ台設置しました

12月18日からネイチャーセンターの窓辺に小鳥のエサ台を設置しています。ヒマワリの種と脂身、ヒエなどの穀物や果物を置いています。

毎日、ハシブトガラやシジュウカラ、ゴジュウカラ、コゲラ、アカゲラなどがやって来ています。ときには、ハイタカが姿を見せることもあります。

エサ台は室内からご覧いただけます。小鳥たちの仕草をじっくりと観察してみてください。



エサ台にやってきた  
ゴジュウカラ

# ボランティアの活動

## ■ スクお散歩会 ■

ボランティア・グループ スクでは、毎月の最終月曜日13時30分から、春国岱を散策する「お散歩会」を開催しています。この日に参加できるスクのメンバーとフィールドボランティアのメンバーで自然の移り変わりを観察し、それぞれの知識や経験を持ち寄って、自然について学んでいます。

ボランティアメンバーでなくても、春国岱の自然を楽しみたい方なら大歓迎です。参加ご希望の方はネイチャーセンターまでお気軽にお問合せください。

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

## フィールドボランティア募集中！！

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。



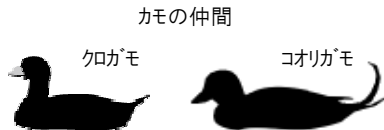
【お問合せ】電話 0153-25-3047



# 自然観察路周辺の自然情報 \* 2・3月 \*



湖面や海面が凍ると氷の上で休憩します。氷の上に乗って、漂流していきることがあります。



3月中旬を過ぎると根室で越冬していたクロガモやコオリガモなどが北へ移動を始めます。入れ替わりに南方で越冬していたヒドリガモなどが北上の途中に羽を休めにやってきます。



オオワシ、オジロワシの飛来数が1月下旬から2月上旬にかけてピークを迎えます。風蓮湖の周りの木に止まり休息する姿や氷の上においている姿がよく見られるようになります。



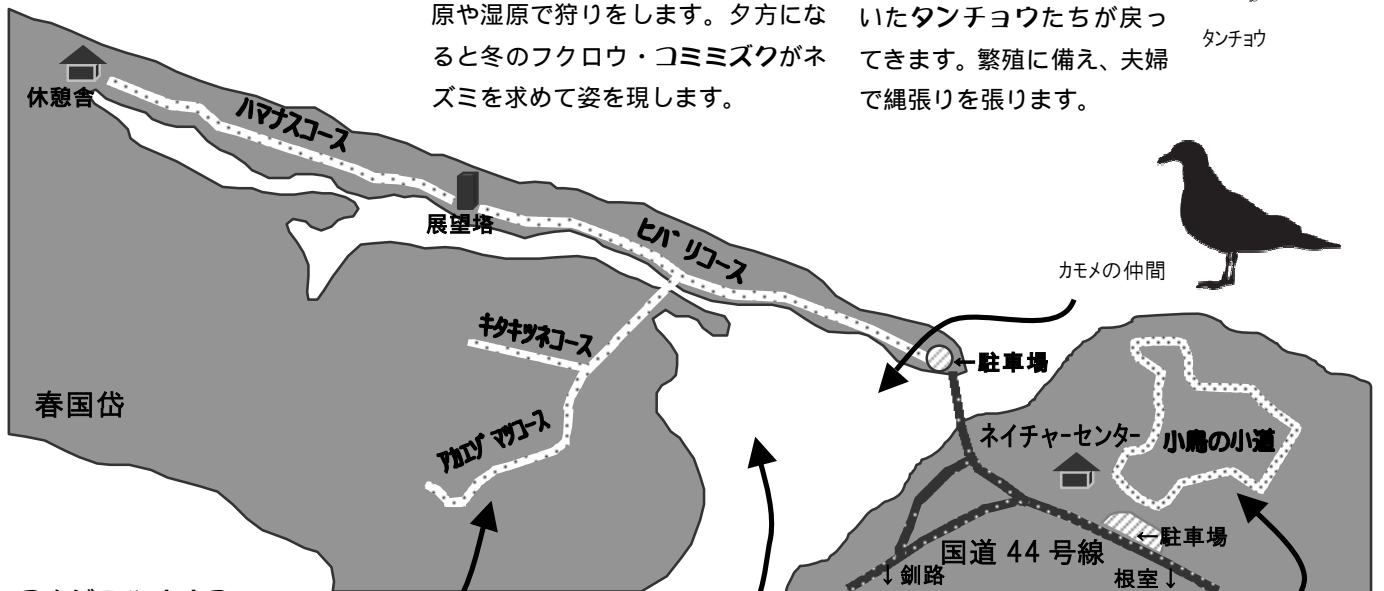
冬を根室ですごす小鳥達が見られます。ハギマシコやユキホオジロ、ベニヒワなどが第一砂丘の草原に草の種を食べにやってきます。



ハイロチュウヒやノスリなどが草原や湿原で狩りをします。夕方になると冬のフクロウ・コミミズクがネズミを求めて姿を現します。



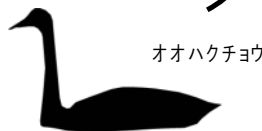
3月中旬になると、鶴居村や阿寒町の給餌場で越冬していたタンチョウたちが戻ってきます。繁殖に備え、夫婦で縄張りを張ります。



アカゲラやオオアカゲラ、コゲラなどが見られます。



オオアカゲラ

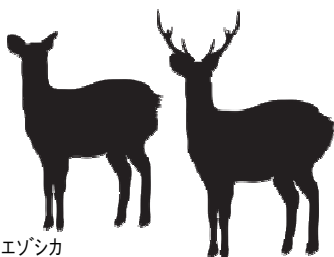


オオハクチョウ

3月にはいると南で越冬していたオオハクチョウが北上の途中に羽を休めにやってきます。数千羽のオオハクチョウが風蓮湖をにぎわせます。



3月下旬になると春を告げる花フクジュソウが雪の下から顔をのぞかせ、鮮やかな黄色い花を咲かせます。日当たりのいい斜面ではフキノトウが、頭を出します。



エゾシカ

夕方になると、エゾシカたちが森の中から出てきます。草原で草の根を食べたり、海辺で塩をなめたりします。



エゾリス

朝の森で木の上や地面を走るエゾリスの姿を見る機会が多くなります。厳しい冬の間はエサ台に来ることもあります。

# イベント・展示情報

## ★ねむろバードランドフェスティバル2011

野鳥の祭典「ねむろバードランドフェスティバル」を開催します。今年も根室の野鳥を満喫できる多彩なプログラムを予定しています。

期 間：2月26日(土)～2月27日(日)

会 場：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター、道の駅スワン44ねむろ 他

プログラム：ねむろバードソン オオワシ探鳥会 港めぐりバスツアー

親子・初心者向け探鳥会 夕暮れのミステリーツアー

本土最東端パノラマクルーズ 落石ネイチャークルーズ

時間等詳細につきましては、実行委員会事務局までお問い合わせください。

問 合 せ：ねむろバードランドフェスティバル実行委員会事務局(根室市観光協会)

電話0153-24-3104

## ★北の大地に生きる 根室の生き物 写真展

根室市内の写真家グループ「ネイチャーフォトネムロ」のみなさんが撮影された、根室に暮らす生き物の写真を展示します。

日 時：2月1日(火)～2月28日(月)

9:00～16:30

場 所：春国岱ネイチャーセンター1階

観覧料：無料

申込み：不要



## 団体の方へ～解説プログラムのご案内～

■ 事前にお申し込みが必要です。

■ 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。

→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ① 野外解説・自然学習           | (～2時間 / ～20名)    |
| ② 春国岱の自然(映像)          | (15分～25分 / ～45名) |
| ③ 自然クイズラリー            | (約1時間 / ～50名)    |
| ④ タンチョウ、カモ類についての学習ゲーム | (30分～2時間 / ～20名) |
| ⑤ 施設概要説明              | (30分～2時間 / ～45名) |

### ～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。

連絡先：nemu\_nc@marimo.or.jp

※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

## 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

■住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

■電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570

■HP■ [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

■メール■ nemu\_nc@marimo.or.jp

■2・3月の開館時間■ 9:00～16:30

■2月の休館日■ 2、9、14、16、23日

■3月の休館日■ 2、9、16、22、23、30日

